

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 2025年 4月 23日 山口県知事 様 提出者 住 所 広島県広島市南区仁保沖町1番1号 氏 名 MCMエネルギーサービス株式会社 代表取締役社長 千明 勝郎 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 082-250-7600 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	MCMエネルギーサービス株式会社
事業場の所在地	山口県防府市大字西浦888番地1号
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1のとおり	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 別紙1のとおり

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（2024年度）実績】

産業廃棄物の種類

別紙2-1のとおり

排 出 量

t

t

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

別紙2-1のとおり

排 出 量

t

t

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物の分別に関する事項 別紙1のとおり

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 別紙1のとおり

① 現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 別紙1のとおり

① 現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 別紙1のとおり

① 現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙1のとおり

① 現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1.当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	電気業 電気と蒸気を製造する事業(発電所)
②事業の規模	電気・蒸気売上 44.3億円(前年度実績)
③従業員数	19名(当該事業場)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	
<pre>graph LR A[石炭燃料 8.6万ト] --> B[発電用ボイラー] B -- 蒸気 --> C[蒸気タービン] C --> D((G)) D --> E[電気 167GWh] D --> F[蒸気 8.0万ト] B -- 燃焼ガス --> G[バグフィルター] G --> H[脱硫設備] B --> I[パイライト 鉱さい] B --> J[石炭灰 ボトムアッシュ(湿灰) 燃え殻] G --> K[石炭灰 フライアッシュ(乾灰) ばいじん] I --> L[パイライト 専用置場] J --> M[ボトムアッシュ 専用置場] K --> N[(フライアッシュ タンク)] L -- 運搬 --> O[中間処理] M -- 運搬 --> O N -- 運搬 --> O O -- 運搬 --> P[ばいじん(石炭灰)・燃え殻・鉱さい セメント会社にトラックで輸送 (セメント原料として再資源化)] Q[梱包用木材等] --> R[木くず] S[金属製配管等] --> T[金属くず] U[プラスチック容器等] --> V[廃プラスチック類] W[ガラス製容器、蛍光灯、水銀灯等] --> X[ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず]</pre>	

2.産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

MCMエネルギーサービス(株)
取締役

・ISO14001 環境管理統括者

発電事業部
部長

・内部環境監査責任者

業務委託契約

発電事業部
副部長

・ISO14001 環境管理責任者

マツダ株式会社プラント技術部第1エネルギー技術Gr.
マネージャー

本社エネルギーセンター(広島県広島市) 従業員 88名

第1エネルギー技術Gr.運転係 係長

・本社廃棄物管理責任者

マツダ株式会社プラント技術部第2エネルギー技術Gr.
マネージャー

防府エネルギーセンター(当該事業場) 従業員19名

第2エネルギー技術Gr.発電係 係長

・防府廃棄物管理責任者

3.産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2024年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	ばいじん
	排出量	1049.08 t	2.00 t	2.00 t	4.00 t	0.30 t	1.00 t	9820.53 t
	(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	ばいじん
	排出量	1050.00 t	2.00 t	2.00 t	4.00 t	0.30 t	1.00 t	9900.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・ボイラ燃焼改善運転を継続し、石炭使用量の低減、燃え殻・ばいじん排出量の低減につなげる。							

4.産業廃棄物の分別に関する事項								
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ ばいじん(フライアッシュ)は専用タンクに分別している。 ・ 燃え殻(ボトムアッシュ)は専用置場に保管している。 ・ 鉱さい(パイライト)は専用置場に保管している。							
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
5.自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
①現状	【前年度(2024年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	ばいじん
	排 出 量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	ばいじん
	排 出 量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)							
6.自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
①現状	【前年度(2024年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	ばいじん
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	ばいじん
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)							

7.自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(2024年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	ばいじん
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	(これまで実施した取組)							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	ばいじん
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)							

8.産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(2024年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類	木くず [※]	金属くず [※]	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	ばいじん
	全処理委託量	1,049.08 t	2.00 t	2.00 t	4.00 t	0.30 t	1.00 t	9,820.53 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	1,049.08 t	2.00 t	2.00 t	4.00 t	0.30 t	1.00 t	9,820.53 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
(これまでに実施した取組)								
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類	木くず [※]	金属くず [※]	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	ばいじん
	全処理委託量	1,050 t	2.00 t	2.00 t	4.00 t	1.00 t	1.00 t	9,900 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	1,050 t	2.00 t	2.00 t	4.00 t	1.00 t	1.00 t	9,900 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t
(今後実施する予定の取組)								

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(令和7年度計画)

別紙2-1

多量排出事業者 名 称	MCMエネルギーセンター㈱ 防府エネルギーセンター	所在地(市町名)	防府市	事業の種類	電気業
-------------	---------------------------	----------	-----	-------	-----

(単位:トン)																					
区分	種 類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
産業廃棄物	燃え殻	1,049	1,050									1,049	1,050			1,049	1,050				
	汚泥																				
	廃油																				
	廃酸																				
	廃アルカリ																				
	廃プラスチック類	2	2									2	2			2	2				
	紙くず																				
	木くず	2	2									2	2			2	2				
	繊維くず																				
	動植物性残さ																				
	動物系固形不燃物																				
	ゴムくず																				
	金属くず	4	4									4	4			4	4				
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	0.3	1.0									0	1			0	1				
	鋳さい	1	1									1	1			1	1				
	がれき類																				
	動物のふん尿																				
	動物の死体																				
	ばいじん	9,821	9,900									9,821	9,900			9,821	9,900				
	13号廃棄物																				
	計 (A)	10,879	10,960	0	0	0	0	0	0	0	0	10,879	10,960	0	0	10,879	10,960	0	0	0	0